



2020年度
農学部・長期留学
国際交流プログラム要項

明治大学 教務事務部 農学部事務室

所在地：〒214-8571
神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1
電話：044-934-7570
ファックス：044-934-7902
ホームページ：<http://www.meiji.ac.jp/agri/>

※本要項は農学部HP内からもダウンロードできます。
<http://www.meiji.ac.jp/agri/international/index.html>

農学部長期留学制度（学部間協定校留学）

はじめに ～学部間協定校留学制度について～

明治大学では協定を結んでいる海外の大学と、単位認定が可能な留学（交換留学）を行うことができます。

「大学間」の協定に基づく留学制度には農学部を含め、全学部から応募できますが、農学部には農学部の学生しか応募できない独自の「学部間」協定校があり、留学をすることができます。

学部間協定校は農学系の学部学科を有する大学で、学科の専門的な勉強と直結しているため、語学力の向上だけでなく世界の最先端の研究内容に触れ、学ぶことができます。また、農学系学部で授業を履修するため、大学間協定校より多くの単位認定が出来る可能性があります。（単位振替制度については農学部事務室に確認してください）

このように学部間協定校留学には大学間協定校留学とは違ったメリットがあり、農学部では、現在6校8学部の学部間協定校があります。農学部のみなさん、この学部間協定校留学制度を利用し、海外の大学で農学を学んでみませんか？

1. 学部間協定校

(1) ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部（アメリカ）

※授業は交換留学生用にハワイ大学マノア校が提供する科目の中から選択します。

※Hoakipa Scholarship Programとして実施。

※ハワイ大学への留学を希望する学生は、まず初めに農学部事務室までご相談ください。

(2) ミシガン州立大学（アメリカ）

※授業は交換留学生用にミシガン州立大学が提供する科目の中から選択します。

※American Semester Programとして実施。

(3) カセサート大学カンペンセン校農学部（タイ）

※授業は、農学部を設置されている授業のみ履修可能。他学部の授業は履修できません。

(4) シーナカリンウィロート大学（タイ）

①農産物革新・技術学部

②経済公共政策学部

※授業は、農産物革新・技術学部、経済公共政策学部それぞれに設置されている科目だけでなく、他学部で開講されている科目（ただし制限あり）も履修することができます。

(5) チュラロンコン大学理学部（タイ）

※授業は理学部に設置されている授業のみ履修可能。他学部の授業は履修できません。

(6) こくりつびんとんかぎ 国立屏東科技大学（台湾）

①農学部

②工学部

※国立屏東科技大学が英語で提供する授業のみ履修可能。（国立屏東科技大学により承認された中国語の技量をもつ学生は英語及び中国語の授業が履修可能）

2. 学部間協定校概要

必ず各自で各大学のHP等を確認し、それぞれの大学の違いや特色などの詳細を調べて下さい。

(1) ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部 (アメリカ)

ハワイ大学マノア校は1907年に創立され、世界約80カ国、アメリカ全50州より約18000人の学生が学んでおり、ハワイで最も知名度の高い大学です。海洋学や天文学、言語学などは世界の中でも有名ですが、マノア校のあるオアフ島が非常に特殊な熱帯環境条件にあるため、熱帯農学分野においても有名で、現地では最先端の研究を行っています。

キャンパスはホノルル・ワイキキビーチから程近く、非常に生活がしやすい場所にあります。広大なキャンパスには自然があふれ、スタジアムを始めとする多くの施設もあります。また、キャンパス内外には留学生寮も完備されており、留学生に対する英語基礎教育にも非常に定評があるため、日本だけでなく、世界各国から大勢の留学生が集まってきており、学業・生活ともに充実した留学生活を送ることができます。

<http://www.ctahr.hawaii.edu/site/>

(2) ミシガン州立大学 (アメリカ)

ミシガン州立大学 (MSU) は、イーストランシングにある自然豊かな大学で、アメリカ合衆国ミシガン州の州都であるランシングの東に隣接しています。1855年に創設された米国で最初の農学大学であり、全米で10位以内にランクされる、バスが巡回するほど広大なキャンパスを有しており、授業と授業の間の時間を20分設け、学生が遅刻しないよう配慮しています。現在では18カレッジと多種多様な107学科から構成され、教育・研究分野においてトップレベルの総合研究州立大学です。スポーツは全米大学ビッグ10に入るほど盛んで、そのほか学生サークルが350を数えるなど、課外活動の機会も多いです。

<https://americansemester.isp.msu.edu/programs/about-programs/>

(3) カセサート大学カンペンセン校農学部 (タイ)

国立カセサート大学は、1943年創立の、タイ初の農科大学です。現在は人文社会科学系の学部も有する総合大学となっており、タイのトップスクールにランクされています。農科大学から始まった経緯もあり、農学分野では特に有名です。カンペンセン校農学部は8学科から構成され、タイの農業の先導的役割を担っています。

カセサート大学カンペンセン校はナコンパトム県にあり、バンコクから車で約1時間半程の郊外にあります。キャンパスは広大で農場・温室・牧場等の農学系施設が充実しています。また、留学生寮がキャンパス内に完備されているので、安全安心な滞在が可能であり、留学生の割合は、全学生の1-2%となっています。日本からは明治大学の他、東京農業大学の学生なども留学しています。

<http://agri.kps.ku.ac.th/En>

(4) シーナカリンウィロート大学 (タイ) ①農産物革新・技術学部, ②経済公共政策学部

シーナカリンウィロート大学は1949年に創立された国立大学です。現在は医学部や薬学部も設置されている総合大学で、シリントーン王女も学んだ由緒ある大学です。

農産物革新・技術学部を含む自然科学系の理系学部はナコンナーヨック県にあるオンカラックキャンパスをメインとして利用することになり、農学科・農芸化学科・生命科学科に関する科目はこのバンコクから車で約1時間半程の郊外にあるオンカラックキャンパスに設置されています。

人文社会科学系学部の多くが入るプラサンミットキャンパスには他学部の明治大学学生が交換留学生として多数在籍しています。プラサンミットキャンパスはバンコクの中心部に位置して

おり、非常に利便性が高い場所にあります。学内のビルの1室には明治大学ASEANセンターが設置され、日本人スタッフも複数常駐しており、授業や生活面で様々なサポートが受けられます。食料環境政策学科の科目やタイ語の授業についてはこちらのプラサンミットキャンパスとなります。経済公共政策学部は、アメリカの大学と二重学位コースを開設していることに加え、2016年からは全授業を英語で行うコースも新設され、英語による教育に熱心に取り組んでいます。また、同学部の19人の専任教員の中で、農業・環境経済学を専攻する教員が5名おり、食料環境政策学科を中心に本学部の教員の専門分野とも共通点を有する学部です。

<http://apit.swu.ac.th/Default.aspx?tabid=7626>

<http://www.swu.ac.th/en/>

(5) チュラロンコン大学理学部 (タイ)

チュラロンコン大学は18の学部により構成され、学士、修士、博士、ポストドクトラルを含む全ての学位を提供するタイにおける代表的な研究・教育機関であり、タイの最高峰の大学として位置づけられてきました。チュラロンコン大学理学部は、生物、化学、植物、微生物、生化学、食品科学、環境科学等の学科を有しており、農学部の教育研究分野と共通する分野が多い学部です。また70年以上にわたり国際関係の構築に取り組んでおり、現在では学術・研究プログラムにおいて多くの国際的レベルの大学と協働しています。

キャンパスは首都バンコク市街に位置し、電車の最寄駅が2つあり、無料バスで学内への移動が可能など、非常に利便性の高い大学です。日本人スタッフが複数常駐している明治大学ASEANセンターからも近く、授業や生活面で様々なサポートが受けられます。ASEAN諸国の中でも主要な大学として多くの留学生を受け入れており、留学生同士の交流も可能です。

<http://www.chula.ac.th/>

(6) 国立屏東科技大学 (台湾) ①農学部, ②工学部

国立屏東科技大学は1924年に設立された、台湾の最南端に位置する国立大学です。台湾に3校しかない農業専門学校を前身とする大学のうちの1校で、6学部26学科、34専攻(8博士課程含む)を有し、亜熱帯・熱帯農業及び環境科学関連の研究と教育が熱心に行われています。実践的農業教育や研究面に力を入れているため、生産者や現場との関わりが強いのも特徴です。

また、アジア各国からの留学生を多く受け入れ、英語授業による学位授与を含めた国際交流にも力を入れています。2012年には日本の文部科学省にあたる中国(台湾)の教育部より、科学・科学技術系大学のトップ6校のうちの1校として選ばれました。

キャンパスの広さは約300ヘクタールと台湾で最も面積の広い大学で、台湾唯一の野生保護動物収容センターや農場、牧場、植物園など様々な施設が点在し、自然あふれるキャンパスです。

<http://mportal.npust.edu.tw/bin/home.php>



ハワイ大学マノア校キャンパス



ミシガン州立大学キャンパス



カセサート大学学食



シーナカリンウィロート大学
プラサンミットキャンパス



チュラロンコン大学 キャンパス



チュラロンコン大学 授業風景



シーナカリンウィロート大学
オンカラックキャンパス



国立屏東科技大学 キャンパス



国立屏東科技大学 牧場

3. 留学期間（学年暦や受入先の都合に応じて、変更となる場合があります。）

(1) 1 学年間の場合（通年）



2020年8月～2021年5月

※明治大学では留学開始年度秋学期と次年度春学期の授業の履修はできません。

(2) 1 学期間の場合（半期）

2020年8月～2020年12月

※明治大学では留学年度秋学期の授業の履修はできません。

	8月—12月（秋学期）	1月—5月（春学期）
通年	 ※明治大学履修不可（秋学期・春学期）	
半期	 ※明治大学履修不可（秋学期）	留学不可

4. 派遣予定人数

- (1) ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部
秋学期及び通年の合計で10名以内
- (2) ミシガン州立大学
秋学期及び通年の合計で10名以内
- (3) カセサート大学カンペンセン校農学部
秋学期2名 または 通年1名 のいずれか
- (4) シーナカリンウィロート大学
①経済公共政策学部
②農産物革新・技術学部
①・②ともに秋学期及び通年の合計で2名以内
- (5) チュラロンコン大学理学部
秋学期4名 または 通年2名 のいずれか
- (6) 国立屏東科技大学 (台湾)
①農学部
②工学部
①・②ともに秋学期2名 または 通年1名 のいずれか

		大学名	通年	秋学期のみ	春学期のみ
(1)		ハワイ大学	合計10名以内		
(2)		ミシガン州立大学	合計10名以内		
(3)		カセサート大学	1名	2名	
(4)	①	シーナカリンウィロート大学 経済公共政策学部	合計2名以内		
	②	シーナカリンウィロート大学 農産物革新・技術学部	合計2名以内		
(5)		チュラロンコン大学	2名	4名	
(6)	①	国立屏東科技大学農学部 (台湾)	1名	2名	
	②	国立屏東科技大学工学部 (台湾)	1名	2名	

(参考) 過去5年の派遣実績

年度	派遣先
2014年度	カセサート大学カンペンセン校農学部：2名 (女子2名)
2015年度	シーナカリンウィロート大学農産物革新・技術学部：1名 (男子1名) ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部：1名 (女子1名)
2016年度	チュラロンコン大学理学部：1名 (男子1名) ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部：1名 (男子1名) シーナカリンウィロート大学経済公共政策学部：1名 (女子1名)
2017年度	シーナカリンウィロート大学農産物革新・技術学部：1名 (女子1名) シーナカリンウィロート大学経済公共政策学部：2名 (男子1名・女子1名)
2018年度	カセサート大学カンペンセン校農学部：1名 (女子1名) チュラロンコン大学理学部：1名 (女子1名) ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部：1名 (男子1名)
2019年度 (派遣予定)	チュラロンコン大学理学部：1名 (女子1名) シーナカリンウィロート大学農産物革新・技術学部：1名 (女子1名)

5. 学費・諸経費及び奨学金

(1) ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部

①本学の学費は通常通り納付

②ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部の定める学費も納付する必要がある。

おおよその費用等については下記の通り。(変更の可能性もあります。)

※1学期あたりの必要経費(2018年度現在)

納付金: \$ 441, 授業料: \$ 8,316, 家賃: \$ 7,750 (留学生寮)

⇒合計 \$ 16,507 (日本円: 190~200万円程度)

③留学先大学が義務付ける授業料以外の費用(施設使用料等)・渡航費(ビザ取得のための代金も含む)・生活費(宿泊費も含む)・海外旅行保険(本学指定の海外旅行保険に必ず加入し、また留学先大学指定の保険加入が義務付けられている場合は併せて加入する)にかかる費用及びその他雑費は自己負担

(2) ミシガン州立大学アメリカンセメスタープログラム

①本学の学費は通常通り納付

②ミシガン州立大学の定める学費も納付する必要がある。

おおよその費用等については下記の通り。(変更の可能性もあります。)

【1学期間】\$ 12,065

【1学年間】\$ 24,130

③留学先大学が義務付ける授業料以外の費用(施設使用料等)・渡航費(ビザ取得のための代金も含む)・生活費(宿泊費も含む)・海外旅行保険(本学指定の海外旅行保険に必ず加入し、また留学先大学指定の保険加入が義務付けられている場合は併せて加入する)にかかる費用及びその他雑費は自己負担

(3) カセサート大学カンペンセン校農学部、シーナカリンウィロート大学農産物革新・技術学部、 チュラロンコン大学理学部、シーナカリンウィロート大学経済公共政策学部、国立屏東科技大学農学部、 国立屏東科技大学工学部

①留学先大学の授業料のみ免除(本学の学費は通常通り納付)

②留学先大学が義務付ける授業料以外の費用(施設使用料等)・渡航費(ビザ取得のための代金も含む)・生活費・海外旅行保険(本学指定の海外旅行保険に必ず加入し、また留学先大学指定の保険加入が義務付けられている場合は併せて加入する)にかかる費用及びその他雑費は自己負担

※カセサート大学カンペンセン校農学部・チュラロンコン大学理学部・国立屏東科技大学には留学生寮が完備されていますが、シーナカリンウィロート大学はキャンパスによっては留学生寮がありませんので、大学周辺のアパート等に居住する可能性があります。

(4) 奨学金制度について

学部間協定校留学への留学予定者は明治大学の外国留学奨励助成金※1に応募できます。ただし、採用人数や総支給額の上限があるため、受給を必ずしも保障するものではありません。

また、JASSO(日本学生支援機構)の奨学金※2など学外の諸団体が支給する奨学金もありますので、掲示板やHPで情報収集をに努め、積極的に奨学金に応募するようにしてください。申請時期や申請方法も様々ですので早めに情報収集と問い合わせをして詳細を確認してください。

※1) 明治大学外国留学奨励助成金

①留学経費助成金

助成金額: 20万円以内を助成

②留学授業料助成金(ハワイ大学・ミシガン州立大学のみ申請可能)

助成金額：留学先機関の授業料（申請費用や登録費用は含まない）を日本円に換算し、本学に納入する授業料と同額を上限として助成

③問い合わせ先

明治大学駿河台キャンパス 国際教育事務室 TEL：03-3296-4141

明治大学生田キャンパス 国際教育事務室分室 TEL：044-934-7700

※2) JASSO（日本学生支援機構）奨学金

①明治大学に応募後、JASSOによる審査の上、以下の奨学金を受給することができます。

ただし、学外団体の奨学金のため、現段階では支給は未確定です。

【2019年度支給予定金額】

・ハワイ大学・ミシガン州立大学：月額8万円

・タイの学部間協定校：月額7万円

・台湾の学部間協定校：月額6万円

問い合わせ先 明治大学農学部事務室 TEL：044-934-7570

6. 応募条件

	共通事項	語学基準
タイ及び台湾の学部間協定校	①留学実施時期に農学部2～4年生であること <u>（出願時には1年生でも構いませんが、留学実施時期は2年生になります）</u> ②出願時で全体のGPAが2.50以上の者 ③過去1年以内にTOEICまたはTOEFLを受験（または今後受験予定）しており、そのスコアを応募期間までに提出可能な者	語学力（英語・タイ語・中国語）の具体的な基準については特に定めていないが、英語力については英語での授業が理解できる者とする。 <u>ただし、留学決定後は英語、タイ語及び中国語の勉強及び能力向上に各自で十分励み、留学に臨むこと。</u>
ハワイ大学 マノア校 熱帯農学・人的資源学部	④農学部学部間協定校に決定した場合は、留学を確約出来る者（志願や選考の段階では学部間協定校との併願は可能です） ⑤留学するにあたり健康状態に支障がない者。（持病がある場合はかかりつけ医等の了承を得ていること） ⑥誓約書に記載されている事項に同意し、保証人の同意を得た者	TOEFL-iBT 68点以上（TOEFL-ITP 520点以上） ※TOEFL-iBT 80点以上（TOEFL-ITP 550点以上）が望ましい。 ※TOEFL-iBT 60～67点（TOEFL-ITP 500～517点）の者も応募可能だが、履修可能な科目が制限されることと、ハワイ大学が提供する英語プログラムへの参加が必須となる。 ※留学後のプレースメントテストは全員必須で、その結果により、英語プログラムの受講参加が必須になる場合がある。
ミシガン州立大学		TOEFL (IBT) 79点以上かつ各セクションが17点以上またはその他試験による上記相当

※タイの学部間協定校の授業は原則としてタイ語で行われるが、一部の科目については英語で開講される。英語のみ理解できる者については履修可能な科目が制限されるため、タイ語の勉強も並行するのが望ましい。

7. 年間スケジュール

日程	スケジュール	備考
4月17日(水) 昼休み (12:40~13:20)	第1回 農学部留学 ガイダンス	詳細についてはガイダンスの中で説明します。
9月27日(金)	第2回 農学部留学 ガイダンス	内容は追ってお知らせします。 ※応募を検討している方はできるだけ参加してください。
9月27日(金)~ 10月3日(木)	応募期間	提出書類一式をまとめて農学部事務室まで提出してください。
10月中旬	書類選考及び 面接審査	書類選考・面接審査にて参加者を決定します。 詳細はOh-o!Meiji 及び掲示板でお知らせします。
10月中旬	合格発表	農学部掲示板で発表します。
未定	受入決定	派遣先大学より受入許可通知を受けた時点で正式な合格となります。
未定	留学準備	先方の大学が求める必要書類等を揃えたり、招聘状の取り寄せやVISA・航空券、保険等の手配を行います。 語学の準備もしっかりとするようにしてください。 ※原則として大学が指定する旅行代理店を介して航空券や保険の手配を行うこと。
派遣先大学による	留学開始	渡航前に農学部事務室に留学願など、留学に関する手続き書類を必ず提出してください。

8. 提出書類

応募期間内に下記書類(1)~(6)の一式をまとめて農学部事務室まで提出してください。

(1) 協定校派遣留学志願書…所定様式

タイの学部間協定校を希望する場合は、第一志望・第二志望・第三希望の大学を記入することが出来ます。(第二志望・第三希望が無い場合は第一志望のみ記入して下さい。)

※ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部・ミシガン州立大学を志望する場合は第一志望のみ記入して下さい。

(第二志望をタイ及び台湾の学部間協定校にすることは出来ません)

※国立屏東科技大学を志望する場合は第一志望・第二志望の学部を記入することが出来ます。

(第二志望が無い場合は第一志望のみ記入して下さい。)

(2) 協定校留学誓約書…所定様式(保護者自署必須)

(3) Plan of Study Abroad…2枚以内・パソコンで作成

※英語で記述。500words以上1000words以内

※タイトルは"Plan of Study Abroad"とし、必ず用紙右上に学部・学科・学年・氏名を記入。

両端に1,5cm以上の余白を残し、文字のサイズは10.5ポイント以上とする。最後に総字数を明記すること。(単語単位で字数を数えること)

※次の三点を含んでいること。

①留学の動機及びこれまで取り組んできたことについて

②留学先での学習・研究計画について

(履修希望科目や分野を挙げるなどして具体的に記述すること)

③留学後の展望について

(4) 協定校留学計画書…2枚以内・パソコンで作成（日本語で記述。1500字以上）

※タイトルは協定校留学計画書とし、必ず用紙右上に学部・学科・学年・氏名を記入。

※両端に1,5cm以上の余白を残し、文字のサイズは10.5ポイント以上とする。

最後に総字数を明記すること。

※次の三点を含んでいること。

①留学の動機及びこれまで取り組んできたことについて

②留学先での学習・研究計画について

（履修希望科目や分野を挙げるなどして具体的に記述すること）

③留学後の展望について

(5) 成績通知表（各自 Oh-o!meiji システムより出力して下さい。）

(6) TOEIC, TOEFL のスコアシートのコピー（過去1年以内に受験したものに限る）ハワイ大学およびヒシガン州立大学はTOEFLの基準があります。

※(1)(2)の書類は下記農学部HP内（国際交流をクリック）よりダウンロードしてください。

<http://www.meiji.ac.jp/agri/international/index.html>

※(1)～(5)の書類はすべてA4サイズ、片面印刷で揃えてください。なお、表紙およびホチキス留めは不要です。

※応募書類に不備があった場合、参加不可となる可能性があります。提出前に応募者の責任においてよく確認してください。

9. 学内選考

(1) 書類選考（提出された書類を審査します）

(2) 面接審査（英語及び日本語で20～30分程度）

※面接に臨むにあたり、志望動機、学習・研究計画、将来の計画、その他予想される質問事項について自分なりに考え、日本語と英語の両言語で問題なく話すことができるよう準備をしてください。また、留学先国や大学について入念に下調べをし、理解を深め、面接で最大限の力・知識を発揮できるようにしてください。

(1)(2)を踏まえ、農学部国際交流委員会及び農学部教授会で合否を決定します。

10. 合格発表

学内選考の合否結果について農学部掲示板にて発表します。

その後、学内選考合格者を派遣候補者として協定校へ推薦します。ただし、受入の最終決定権及び希望授業の履修可否決定権は協定校にあります。本学部からの推薦があっても、先方での審査により不合格となる場合もあります。本学部からの推薦は、受入決定及び希望授業履修決定を保証するものではありませんので注意してください。

また、明治大学からの推薦後、各候補者は協定校から求められる出願書類（例：所定の申請書類、英文成績証明書、英文銀行残高証明書、学習計画書等 ※各種書類の作成は候補者本人が行い、発行手数料等準備にかかる諸経費は自己負担）を別途準備する必要がある場合があります。この出願書類については受入大学より連絡があり次第、合格者に通知します。

協定校より受入決定・入学許可の連絡があり、農学部の最終承認を得た段階で正式決定とします。受入が正式に決定しましたら、その後の手続きや準備、出発等について事務室より連絡します。

11. 注意事項

(1) 志願・選考の段階においては大学間協定校との併願は可能ですが、農学部の学部間協定校に先に決定した場合は、学部間協定校への留学を優先とし、大学間協定校の選考を辞退することとなりますので十分注意して下さい。

- (2) 農学部学部間協定校留学学内選考に合格した後の申請取消しは、原則として認められません。
- (3) 最新情報（シラバス、学年暦等）は各大学ウェブサイトを確認してください。
- (4) その他、在日公館（大使館など）、市販の情報誌、インターネットなどで積極的な情報収集を行い、大学や留学についての知識を増やしてください。
- (5) 明治大学での研究室入室に関して
- ①研究室入室決定時期（2年次秋学期）に留学する学生について
学科によって対応が異なります。対象となりうる学生は、必ず事前に農学部事務室に問い合わせてください。
- ②研究室入室後（3・4年次）に留学する学生について
- (ア) 協定校での留学期間を卒論関係科目・ゼミナール論文の履修期間に含める場合
事前に担当教員及び農学部事務室に相談した上で、留学前に申請してください。留学期間中に担当教員の指導の下で卒論関係科目・ゼミナールの履修内容を十分に修得できた場合には、単位認定の対象となります。
- (イ) 明治大学にて4学期間以上の卒論関係科目・ゼミナール論文の履修・単位修得を目指す場合
留学前に申請し帰国後に在籍原級をして、不足している期間分以上の卒論関係科目およびゼミナール論文を履修する必要があります。ただし、農学部の卒業要件をすべて満たした場合、卒論関係科目およびゼミナール論文の単位修得に関わらず、卒業となります。この場合、卒論関係科目およびゼミナール論文の単位は修得できません。

12. 問い合わせ

協定校留学の期間は在学期間に含まれますが、修得単位や進級条件、必修科目など、留学時期によっては4年間での卒業や進級等に影響してくる場合もあります。また、その他協定校留学に関する疑問点や不明点がありましたら必ず事前に農学部事務室まで問い合わせてください。